

第 35 回運営会議（2004. 7. 2 開催）結果報告		2004. 7. 6 庶務発信
開催日時：	2004 年 7 月 2 日（金）16:00～18:00	
場 所：	カラスマプラザ 2 1 7 階会議室	
参加者数：	運営会議委員 6 名（委員長、治水部会長、琵琶湖部会長、淀川部会長、住民参加部会長、猪名川部会長） 河川管理者 3 名	
検討内容、 決定事項	<p>1 淀川水系流域委員会規約の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会での寺田委員長代理からの提案、委員会での主要意見、河川管理者からの要請書との整合性を踏まえて、現在の第 2 条を以下のように、委員会冒頭での提案になるべく近い形での文案とすることで了承した。 <p>「第 2 条 委員会は、淀川水系河川整備計画（案も含む）の計画内容の進捗の点検にあたって意見を述べ、かつ、同河川整備計画（案も含む）の変更について意見を述べるとともに、関係住民の意見の反映方法について意見を述べることを目的とする。」</p> <p>2 ダムに係わるワーキンググループについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 名称、体制およびメンバー等について、以下のように決定した。 名称は、「ダムワーキンググループ（略称ダムWG）」とする。 体制は、ダムWGの人数は概ね 20 名程度（第 34 回運営会議での確認事項）、ダムWGのメンバーにより、ダムごとの検討を行うサブWGを組織する（第 34 回運営会議での確認事項）ことが改めて確認された。 ダムWGのメンバーは、事前に参加意思を表明されている 2 3 名に加え、専門分野を考慮して若干名の委員に要請する。ただし、委員の誰もが参加できるようにする。リーダーは今本委員（治水部会長）とする（代理は後日、検討）。なお、河川管理者も出席する。 サブWGのメンバーは、第 1 回ダムWGの際に相談する。 ダムWGは、7 月 1 1 日（日）と 7 月 1 8 日（日）、それぞれ 13:30～18:00 に開催する。開催場所は、50 名程度の会場とし、至急確保し各委員に連絡する。 <p>3 新流域委員会に係わる体制づくりの方法・スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 新流域委員会の体制については、第 2 7 回の委員会に提出された案を踏まえて、次回委員会で検討する。ただし、委員選出の方法については、7 月 2 9 日（木）の次回委員会開催前に運営会議を開催し（14:30 からみやこメッセにて）、再確認をすることになった。 <p>4 第 3 1 回委員会議事内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> 議事次第は、①開会で、経過説明等を行い、②審議で、ダムに係るワーキンググループについて（WG体制の報告、WG検討経過の報告）、新委員会に向けた体制づくりについて、河川整備計画基礎案に係る平成 1 6 年度事業の進捗の点検について（委員会に対する点検依頼事項の提示、点検に係わる委員会としての体制についての検討）、③傍聴者からの意見、④その他（今後のスケジュール）、⑤閉会とする。ただし、新委員会に向けた体制づくりについては、検討を要するということが了承された。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

※このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。